

# 株式会社 西田組

## 令和5年度環境活動レポート

(対象期間：令和5年6月～令和6年5月)



作成日：令和6年9月

# I 環境経営方針

## 〈環境理念〉

株式会社西田組は、地域から選ばれる企業である為に、建設業(主に解体工事業)及び産業廃棄物処理業等の事業活動を通して地域の発展に取り組んでまいります。

経営の中に環境保全を明確に位置付け、課題とチャンスをつまみながら環境負荷低減の為に活動を継続し続けます。

## 〈環境保全への行動指針〉

1. 二酸化炭素の排出削減の推進
2. 産業廃棄物及び建設副産物のリサイクルの推進
3. 水使用量の削減
4. 環境関連法の遵守
5. 環境経営の課題とチャンスへの取り組みを推進
  - ①環境に優しい設計・施工方法の継続的改善
  - ②顧客の安心と満足を満たす環境に配慮したサービスの提供
6. 環境経営システムの継続的改善

制定日：平成27年 9月 1日

改訂日：令和 2年 8月15日

改訂日：令和 2年10月15日

代表取締役社長 西田 文仁

## II 組織の概要

### 1. 名称及び代表者名

株式会社 西田組  
代表取締役社長 西田文仁

### 2. 設立

昭和47年1月13日

### 3. 所在地

本社 青森市大字荒川字柴田102番地1  
桐ノ沢処理センター 青森市大字駒込字桐ノ沢158番

### 4. 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者 環境部 千葉 康貴 TEL 017-741-1915  
担当者 総務部 黒滝 卓也 TEL 017-739-2025

### 5. 事業活動の内容

土木一式工事業・建築一式工事業・とび・土工・コンクリート工事業・舗装工事業・  
しゅんせつ工事業・造園工事業・水道施設工事業・塗装工事業・  
内装仕上工事業・熱絶縁工事業・鋼構造物工事業・解体工事業  
産業廃棄物収集運搬及び中間処理業・特別産業廃棄物収集運搬業  
重機類の運転手付き貸付・古物商

### 6. 事業規模

資本金 5,000万円  
売上高 25億8,455万円  
従業員 135人

### 7. 対象範囲(認証・登録範囲)

本社・建設現場  
桐ノ沢処理センター

### 8. 事業年度

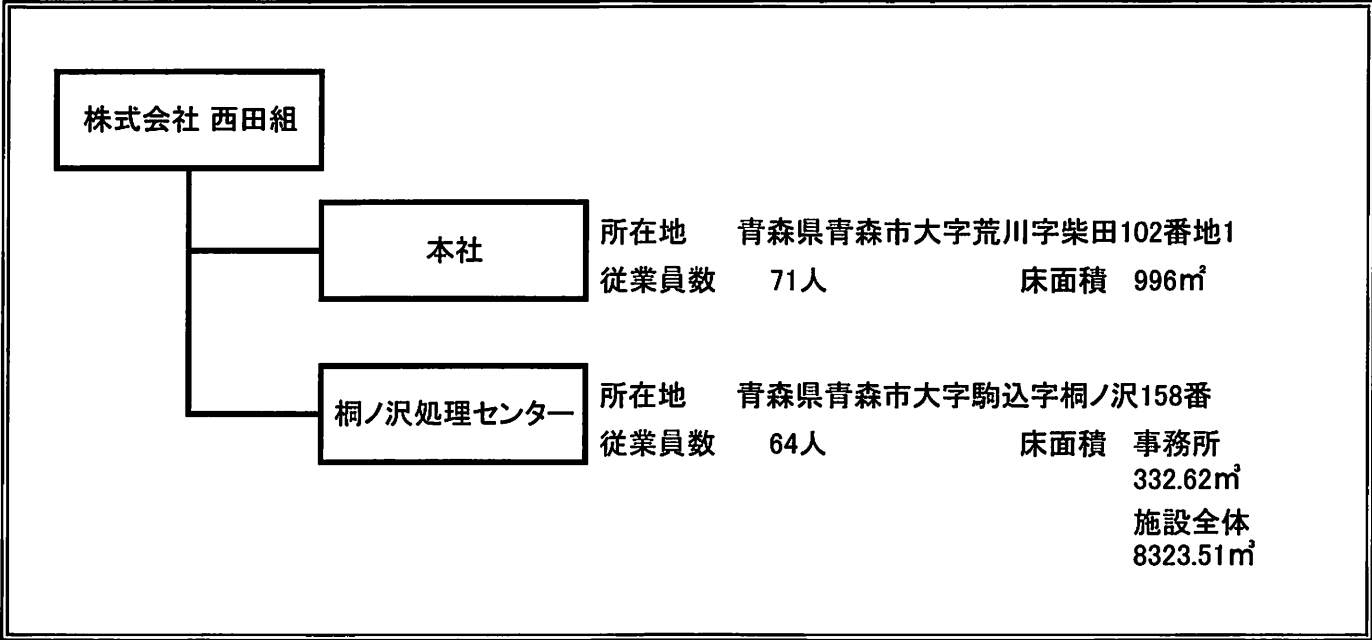
令和5年6月～令和6年5月

### 9. 環境活動レポートの対象期間

令和5年6月～令和6年5月

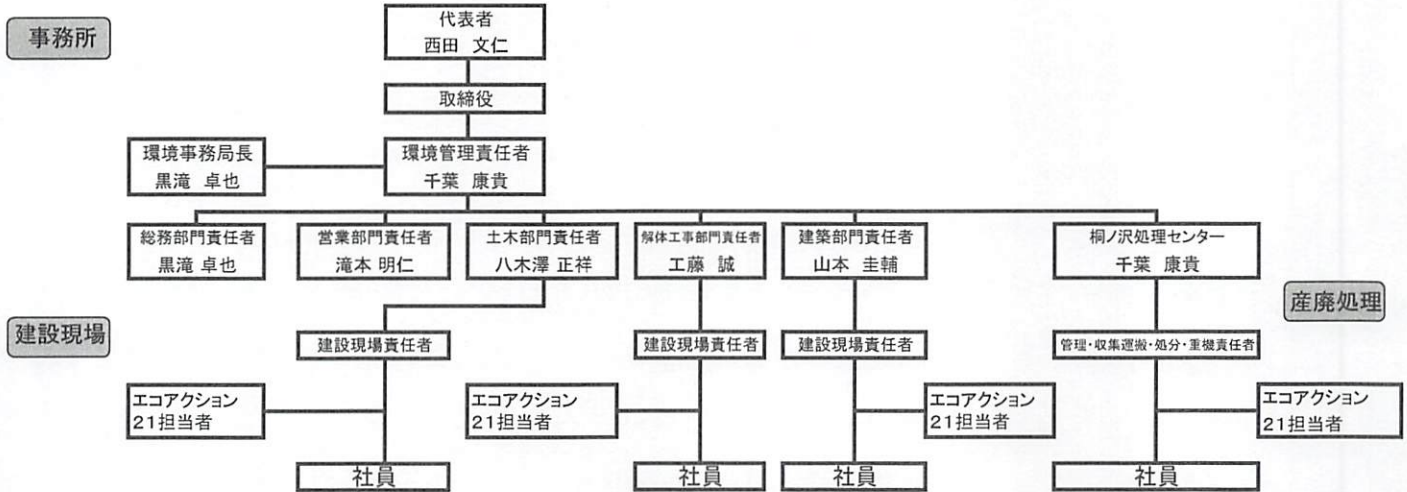
株式会社 西田組 組織図

令和5年5月31日現在



# EA21実施体制図

## 株式会社 西田組



環境経営システム 役割・責任・権限表

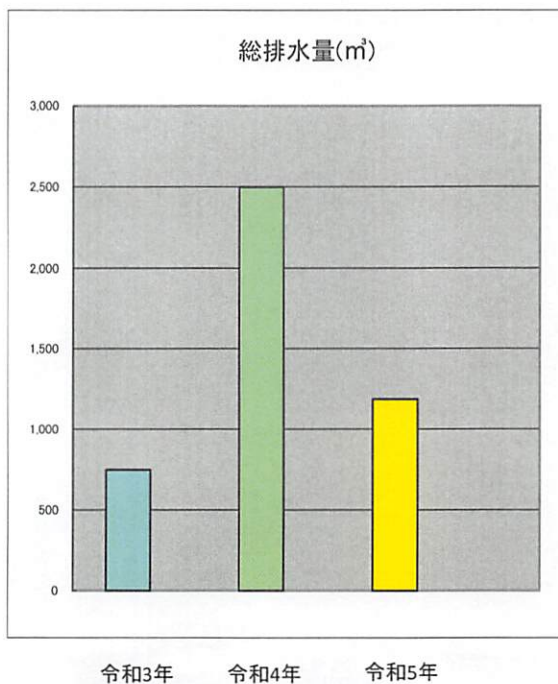
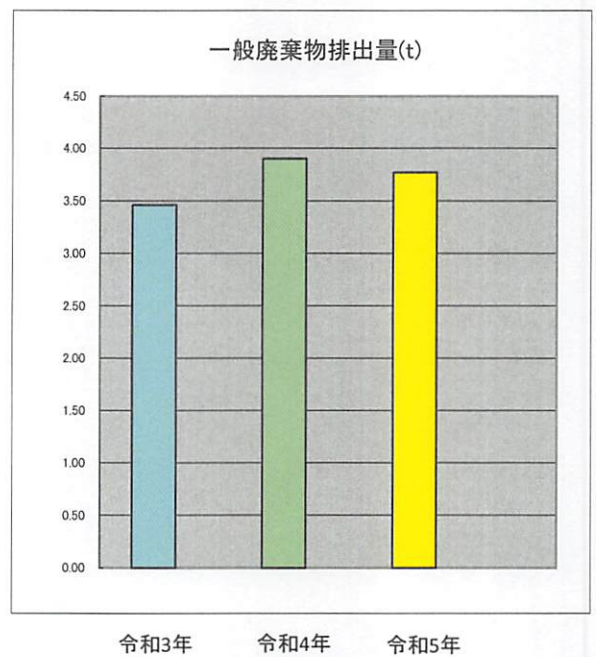
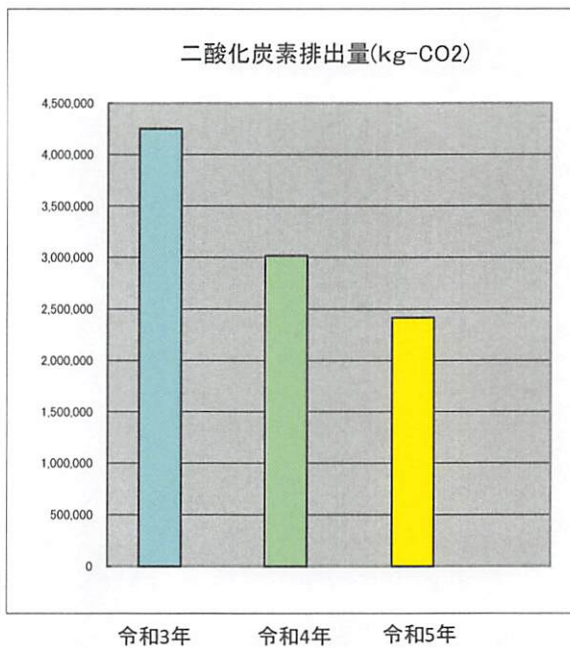
	役割・責任・権限
<b>代表者(社長)</b> 代表取締役社長 西田 文仁	①環境経営に関する統括責任 ②環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ③環境管理責任者の任命など実施体制の構築 ④代表者による全体の評価と見直しを実施 ⑤環境経営方針の作成 ⑥経営における課題とチャンスの明確化
<b>環境管理責任者</b> 環境部 次長 千葉 康貴	①環境経営システムの構築、実施、管理 ②問題点の是正措置、予防処置の指示・確認 ③代表者への実績報告
<b>環境事務局</b> 総務部長 黒滝 卓也	①環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ②環境目標、環境活動計画書原案の作成 ③環境活動チェック表等の実績集計 ④環境関連の外部コミュニケーションの窓口
<b>部門責任者及び現場責任者</b> 総務部長 黒滝 卓也 営業部顧問 滝本 明仁 取締役 土木部長 八木澤 正祥 取締役 解体工事部長 工藤 誠 取締役 建築部長 山本 圭輔 環境部 重機課長 小笠原 雅人 環境部 次長 千葉 康貴	①所轄事項について環境システムを実施し、維持する ②環境方針の部内への周知 ③教育訓練の実施 ④環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ⑤緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練の実施、記録の作成 ⑥問題点の発見、是正、予防処置の実施
<b>全従業員</b>	①環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

### Ⅲ 環境目標とその実績

#### 1. 主な環境負荷の実績

表1 主な環境負荷等の実績

項目	単位	令和3年度 (6～5月)	令和4年度 (6～5月)	令和5年度 (6～5月)
二酸化炭素排出量	kg-CO2/年	4,251,074	3,017,063	2,416,286
二酸化炭素排出係数(電力)	kg-CO2/Kwh	0.521	0.521	0.521
一般廃棄物排出量	t/年	3.46	3.90	3.77
水使用量(水資源投入量)	m3/年	746	2,498	1,185



### Ⅲ 環境経営目標とその実績

#### 2. 環境目標の設定

当社では、2021年度を基準年度として中長期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおりを設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

基準年度(2021年度、2022年度)比の削減(増加)率(%)

項目	基準年度	2022年度		2023年度		2024年度		
	2021年度	目標	目標値	目標	目標値	目標	目標値	
電力の消費量 (kwh/年)	1,836,695	1%削減	1,818,328	2%削減	1,799,961	3%削減	1,781,594	
ガソリンの消費量 (ℓ/年)	93,357	1%削減	92,423	2%削減	91,490	3%削減	90,556	
軽油の消費量 (ℓ/年)	1,193,434	1%削減	1,181,500	2%削減	1,169,565	3%削減	1,157,631	
灯油の消費量 2023年度実績により目標値改定 (ℓ/年)	12,070	1%削減	41,578	2%削減	41,158	3%削減	11,708	
A重油の消費量 2023年度実績により目標値設定 (ℓ/年)	15,000					1%削減	14,850	
LPGの消費量 (kg/年)	89	1%削減	88	2%削減	87	3%削減	86	
二酸化炭素合計 (kg-CO2/年)	4,410,561	1%削減	4,366,455	2%削減	4,322,350	3%削減	4,278,244	
一般廃棄物 2022年度実績より目標値改定 (kg/年)	3,996	1%削減	3,432	2%削減	3,916	3%削減	3,876	
建設リサイクル【再資源化率】(%/年)	88	1%増加	89	2%増加	90	3%増加	91	
水使用量【節水】 (m <sup>3</sup> /年)	3,879	1%削減	3,840	2%削減	3,801	3%削減	3,763	
自らが施工・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	環境配慮施工	建設現場等において環境に配慮した施工や作業の推進に努める。						
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮及びサービスの改善	【再資源化】(t/年)	7,648	1%増加	7,724	2%増加	7,801	3%増加	7,877
	環境に配慮した業務推進	産業廃棄物の収集運搬・処分において環境に配慮した作業の推進に努める。						
地域貢献		1	—	1	—	1	—	1

## IV 環境経営計画

活動項目	取組内容	担当部署	実施スケジュール	備考	
二酸化炭素排出量の削減	①社内の照明は、昼休み、残業時等不必要な時は消灯する	本社	通年		
	②夜間、休日は、パソコン・プリンター等の主電源を切る		通年		
	③使用していない部屋の空調は停止する		通年		
	④エコドライブ等運転方法を励行する		通年		
	⑤長時間のアイドリングをやめるように周知徹底させる		通年		
	⑥道路情報の確認し、余裕を持って出発		通年		
	⑦ドライブレコーダーの取り付けによる監視		通年		
	現場	①低燃費型重機の利用	建設現場、桐ノ沢処理センター	通年	
		②重機運転前運転後の点検実施		通年	
		③重機等の省燃費運転の実施		通年	
		④重機等のアイドリングストップ		通年	
		⑤過積載の防止の教育、監視		通年	
		⑥車間距離を取り、ゆっくり発信、ゆっくり停止を励行		通年	
⑦焼却施設更新による熱効率の上昇		通年			
廃棄物の削減	一般廃棄物	本社、桐ノ沢処理センター	①裏紙使用によるコピー用紙の使用量削減	通年	
			②電子媒体による帳票の閲覧又は周知	通年	
			③紙類は全てシュレッダーにかけ、再資源化を図る	通年	
			④水切りによる生ごみの減量化	通年	
	産業廃棄物	建設現場、桐ノ沢処理センター	①リサイクル率の向上	通年	
			②マニフェストをもとに廃棄物の適正な処理の徹底	通年	
			③建設廃棄物の分別徹底	通年	
			④3R・建設発生材の再資源化の推進	通年	
			⑤廃棄物発生量把握と削減目標の設定(維持管理)	通年	
水使用量の削減等	本社、建設現場、桐ノ沢処理センター	①手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行	通年		
		②洗車する場合は、泥等を落としてから行う	通年		
		③社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は節水を励行している	通年		
		④洗車ホースのストップバルブの利用	通年		
		⑤井戸水の有効利用	通年		
化学物質使用量の抑制及び管理	建設現場、桐ノ沢処理センター	①塗料等の使用量の把握	通年		
		②SDSによるPRTR物質の把握	通年		
		③建設現場等における保管は、原則行わない	通年		
		④漏洩防止対策の徹底	通年		



自らが施工・販売・提供する製品、設備、土木建築物等の環境性能の向上及びサービスの改善	①グリーン購入の推進	建設現場	通年	
	②再生材(再生砕石)の使用		通年	
	③低燃費・低音性能に優れた重機の使用		通年	
	④稼働効率の改善、待機時間の確認・見直し、		通年	
	⑤騒音・振動など環境に配慮した施工・作業		通年	
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮に関する項目	①産業廃棄物のリサイクル化を促進	桐ノ沢処理センター	通年	
	②収集運搬車両の購入際、排ガスのレベル、燃費、リサイクル素材使用などを考慮している		通年	
	③迅速な収集・運搬の徹底、効率的なルート選定		通年	
	④廃棄物の飛散防止・流出防止など環境に配慮した施設管理		通年	
	⑤処分施設、車両基地、収集運搬車両等の清潔保持		通年	
地域貢献	①駒込川のボランティア清掃を行う	本社、建設現場、桐ノ沢処理センター	年1回以上	
	②地域道路清掃などボランティア活動に参加する		年1回以上	
	③環境美化運動の実施		年1回以上	
	④ねぶた祭りへの積極的参加		開催時	
	⑤地域イベント行事への協賛・交流		開催時	

#### 課題とチャンス

環境に優しい設計・施工方法の継続的改善	①電子データ化の推進	全社		
	②CPDS認定講習の活用など従業員教育の充実			
③施工方法等を見直しのため、環境配慮施工に係る情報収集を行う				
④ICT建設施工の導入準備				
顧客の安心と満足を満たす環境に配慮したサービスの提供	①廃棄物処理に関わる法令など顧客への情報提供を行う			
	②見学会受入れ・建設現場における住民説明等を実施			
	③環境に配慮した重機稼働時間の設定及び低音性重機の使用			

## V. 環境経営目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、令和5年6月から令和6年5月までの実績についての評価結果を報告いたします。

表3 当該年度の環境経営目標の達成状況等

項目	単位	基準年度	当該年度(2023年6月～2024年5月)			環境目標の達成状況
		2021年度(6～5月)	削減(増加)率(%)	目標値	実績値	
電力の消費量	kwh/年	1,836,695	-2%	1,799,961	1,521,066	○
ガソリンの消費量	ℓ/年	93,357	-2%	91,490	89,613	○
軽油の消費量	ℓ/年	1,193,434	-2%	1,169,565	519,351	○
灯油の消費量	ℓ/年	41,998	-2%	41,158	8,047	○
LPGの消費量	kg/年	89	-2%	87	81	○
二酸化炭素合計	kg-CO2/年	4,410,561	-2%	4,322,349	2,416,286	○
一般廃棄物 基準値変更	kg/年	3,996	-2%	3,916	3,777	○
建設リサイクル(再資源化率)	%/年	88	2%	90%	89%	×
水使用量(節水)	m <sup>3</sup> /年	3,879	-2%	3,801	2,498	○
自らが施工・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	環境配慮施工	—	建設現場等において環境に配慮した施工や作業の推進に努める。			○
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮及びサービスの改善	環境に配慮した業務推進	—	産業廃棄物の収集運搬・処分において環境に配慮した作業の推進に努める。			○
	再資源化の推進	t/年	7,648	2%	7,800	14,782
地域貢献	件/年	1	-	1	1	○

※ 購入電力の排出係数は、令和4年1月7日環境省・経済産業省公表、東北電力㈱の調整後排出係数 0.521kg-CO2/KWhです。

※一般廃棄物はほぼリサイクルで有価物として引取りされています。

## VI. 環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の目標・取組内容

表4 環境活動計画の取組結果とその評価及び次年度の目標・取組内容

環境方針	環境目標項目	取組内容	実施状況の評価	取組結果	次年度の目標	次年度の取組内容					
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素排出量の削減	①社内の照明は、昼休み、残業時等不必要な時は消灯する	○	年間を通じては、昨年より削減出来ていたが、8月の異常気象でエアコンの使用量は増加したため、一部達成できていないところもあった。	目標 2021年度比3%減 目標値 1,781,594(kwh/年)	必要な場合はエアコンの使用を推奨しますが、日ごろから節電意識を持ち、引続き年間を通しての目標は達成できるように取り組む。					
		②夜間、休日は、パソコン・プリンター等の主電源を切る									
		③使用していない部屋の空調は停止する									
車両用(建設機械)の燃料の二酸化炭素の削減	①エコドライブ等運転方法を励行する ②長時間のアイドリングをやめるように周知徹底させる ③道路情報の確認をし、余裕を持って出発 ④ドライブレコーダーの取り付けによる監視 ⑤低燃費型重機の利用 ⑥重機運転前運転後の点検実施	○	全社での年間の目標は達成出来ているものの、桐ノ沢では、目標の見直しが必要と考える。	目標 2021年度比3%減 目標値 ガソリン 90,557(L/年) 軽油 1,157,631(L/年)	今回の実績から、来期はできるだけ削減に努めるが、業務量が安定して増加した場合、目標値を再設定する。						
						灯油・LPG等の二酸化炭素の削減	①給湯器のムダ使いを無くす ②現場事務所でムダに暖房機器を付け過ぎない ③焼却施設更新による熱効率の上昇	○	焼却炉の着火燃料が灯油からA重油に変更になったため灯油の目標は大幅に達成した。	目標 2021年度比3%減 目標値 灯油 11,707(L/年) A重油 14,850(L/年) LPG 86(kg/年)	目標値の見直しをして、新たに追加になったA重油の数量を注視する。
再資源化対策の推進	①リサイクル率の向上 ②マニフェストをもとに廃棄物の適正な処理の徹底 ③建設廃棄物の分別徹底 ④3R・建設発生材の再資源化の推進 ⑤廃棄物発生量把握と削減目標の設定(維持管理)	×	建設副産物の再利用を100%達成できたが、受託した産業廃棄物は、すべて再資源化出来なかった。	目標 建設副産物の再利用100%	達成はできていないものの、目標は常に100%を目指し少しでも近づけるよう取り組む。						
水使用の適正管理	①手洗い時、洗い物においては日常的に節水を励行 ②洗車する場合は、泥等を落としてから行う ③洗車を必要最小限に、洗車は節水を励行 ④洗車ホースのストップバルブの利用 ⑤井戸水の有効利用	○	現場での使用量が少なく大幅に目標達成できた。	目標 2021年度比3%減 目標値 3,763(m <sup>3</sup> /年)	引続き目標達成出来る様、継続する。						
						化学物質使用量の削減	①塗料等の使用量の把握 ②SDSによるPRTR物質の把握 ③建設現場等における保管は、原則行わない ④漏洩防止対策の徹底	-	化学物質を取り扱う業務は有りませんでした。	法に則って適正に処理を致します	取扱いがあった場合には、適切な管理を徹底します。
自らが施工・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	①グリーン購入の推進 ②再生材(再生砕石)の使用 ③低燃費・低音性能に優れた重機の使用 ④稼働効率の改善、待機時間の確認・見直し、 ⑤騒音・振動など環境に配慮した施工・作業	○	ICT機械の導入できる現場においては、積極的に活用する事により、稼働効率の向上や燃費向上に大きく貢献した。	目標 出来るだけICT機械の使用を増やす。	ICT機械を使用できる人員を育成し、作業効率や燃料の消費量減少に貢献出来るよう取り組む。						
						受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮及びサービスの改善	①産業廃棄物のリサイクル化を促進 ②収集運搬車両の購入際、排ガスのレベル、燃費、リサイクル素材使用などを考慮している ③迅速な収集・運搬の徹底、効率的なルート選定 ④廃棄物の飛散防止・流出防止など環境に配慮した施設管理 ⑤処分施設、車両基地、収集運搬車両等の清潔保持	○	処理設備が順調に稼働し、リサイクル量を大幅に増量することができた。	目標 2021年度比3%増 目標値(再資源化) 7,877(t/年)	引続き目標達成出来る様、継続する。
地域貢献	①駒込川のボランティア清掃を行う ②地域道路清掃ボランティアに参加する ③環境美化運動の実施 ④ぬふた祭りへの積極的参加、地域イベント行事への協賛・交流	○	駒込川の清掃の他、土手の草刈りボランティアも行った。	駒込町会と一緒に駒込川の清掃ボランティアを行う。	引続き参加していく。						

○:評価出来る、△:まずまず評価できる、×:評価できない

## 2. 環境活動の状況

### 駒込川美化活動



### 火災訓練

本社



桐ノ沢処理センター



## VII 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

建設リサイクル法・廃棄物処理法等の環境関連法規等について遵守状況を確認したところ違反はありませんでした。

また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、訴訟等も受けておりません。苦情については1件発生しておりますが、適切に対応し、速やかな情報共有により再発防止に努めている。

## VIII 代表者による全体評価と見直しの結果

全社での目標はほぼ達成しており、おおむね評価します。

目標の数値を再設定した項目については、動向を注視し、達成出来る様努めてください。細かなところまで気を配り、会社設備の異常の有無や所有機械・器具等の点検等を随時行い、無駄が無いよう意識してください。

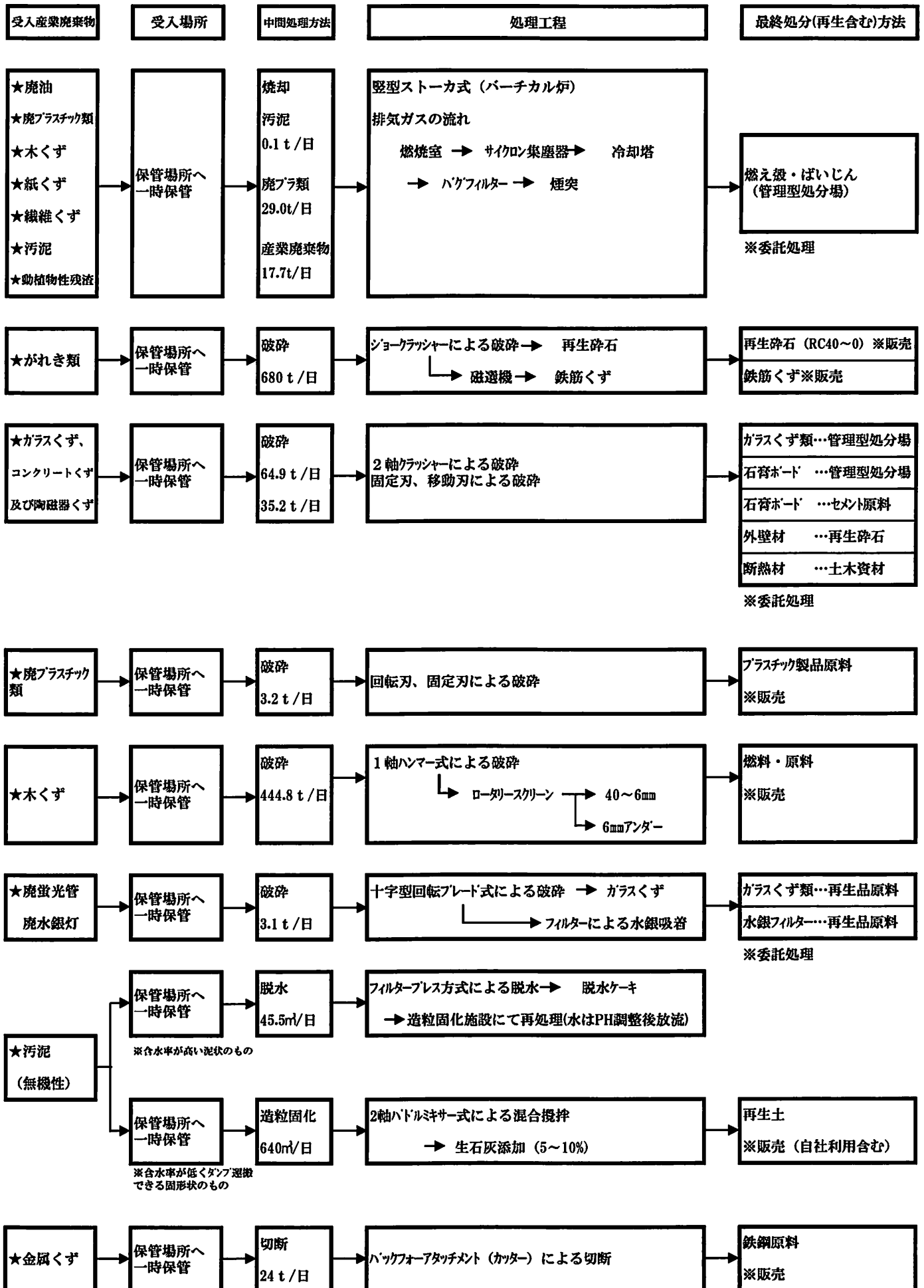
目標の再設定についても過大にならないように実績値と今後の稼働見込みから設定し、大幅にずれがある場合は、再検討していきます。

事業所名	株式会社 西田組桐ノ沢処理センター			
代表者名	代表取締役社長 西田 文仁			
所在地	青森市大字駒込字桐ノ沢158番地			
環境管理責任者	千葉 康貴			
エコアクション2.1担当者	黒滝 卓也			
連絡先	電話	017-741-1915	ファクス 017-741-9324	
	E-mail	<a href="mailto:chiba@nishidagumi.co.jp">chiba@nishidagumi.co.jp</a>		
	URL	<a href="http://www.nishidagumi.co.jp">http://www.nishidagumi.co.jp</a>		
事業活動の内容	産業廃棄物の収集運搬及び処分、特別管理産業廃棄物収集運搬、一般廃棄物運搬			
事業の規模 (2020年)	品名	実績 (t)		
	収集運搬量	23231.816		
	処分量	24827.879		
	製造量	21925.494		
	最終処分量	2840.63		
許可の内容	許可名/許可番号	年月日	事業計画・事業の範囲(事業区分、廃棄物の種類)	
	産業廃棄物収集運搬業(市) 第10812008968号	許可	令和5年5月25日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、ばいじん(これらのうち、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除き、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物であるものを含む。) 積替え保管有り(汚泥、廃プラスチック類及び金属くず(消火器に限る。)に限る。)【面積】3.78㎡【保管上限】1.176t、(汚泥)【面積】1.95㎡【保管上限】0.588t、(廃プラスチック類)【面積】1.008㎡【保管上限】0.0084t
		有効	令和12年5月12日	
	産業廃棄物収集運搬業(県) 第00200008968号	許可	令和5年9月11日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、ばいじん(これらのうち、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除き、石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物であるものを含む。) 積替え保管無し
		有効	令和12年8月31日	
	特別管理産業廃棄物収集運搬業(市) 第10862008968号	許可	令和2年12月17日	廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、廃PCB等、PCB汚染物、廃石綿等、ばいじん、燃え殻、汚泥 積替え保管有り(感染性産業廃棄物に限る。)【面積】7.74㎡【保管上限】7.45㎡
		有効	令和9年11月26日	
	特別管理産業廃棄物収集運搬業(県) 第00250008968号	許可	令和3年1月14日	廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、廃PCB等、PCB汚染物、廃石綿等、ばいじん、燃え殻、汚泥 積替え保管無し
		有効	令和9年11月26日	
	産業廃棄物収集運搬業(秋田県) 第00501008968号	許可	令和3年8月5日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む、水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含む、水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)、ばいじん(特別管理産業廃棄物であるものを除く。)
		有効	令和8年8月4日	
	産業廃棄物収集運搬業(岩手県) 第00300008968号	許可	令和2年8月20日	汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ 積替え保管無し
		有効	令和7年8月19日	
	産業廃棄物処分量(市) 第10822008968号	許可	令和5年7月11日	【脱水】汚泥 【焼却】汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、動物のふん尿、動物の死体、ばいじん 【破砕】金属くず(廃蛍光管、廃水銀灯に限る。) 廃プラスチック類、木くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 【造粒固化】汚泥(無機性のものに限る。) 【切断】金属くず(これらのうち、自動車破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)
		有効	令和12年5月12日	
産業廃棄物処分量(県) 第00220008968号	許可	令和5年9月11日	【破砕】木くず、がれき類 【造粒固化】汚泥(無機性のものに限る。)(これらのうち、特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	
	有効	令和12年8月31日		

## 設備

設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数
脱水施設	汚泥（無機性のものに限る。） 45.5m <sup>3</sup> /8h	1	12t ダンプ	収集運搬	2
焼却施設	汚泥 0.1t/24h 廃油 0.2/24h 廃プラスチック類 29.0t/24h 産業廃棄物 17.7 t/24h	1	10t ダンプ	収集運搬	1
破碎施設 (E'43-N-1000) (移動式：駐車場での稼働を含む)	木くず 444.8t/8h	1	10t ユニック	収集運搬	1
破碎施設 (RC2410) (移動式)	木くず 616t/8h	1	10t ツカミ	収集運搬	1
破碎施設 (MC300) (移動式：駐車場での稼働を含む)	がれき類 680t/8h	1	6t ツカミ	収集運搬	2
破碎施設 (LT801-2) (移動式)	がれき類 376t/8h	1	4t ツカミ	収集運搬	1
破碎施設 (ひまわりHR-200) (移動式)	がれき類 480t/8h	1	6t ユニック	収集運搬	2
破碎施設 (KF-818A)	廃プラスチック類 3.2t/8h	1	4t ユニック	収集運搬	5
破碎施設 (RPO-310J)	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず 64.9t/8h	1	4t ダンプ	収集運搬	2
破碎施設 (BY15型)	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず 35.2t/8h	1	2tトラック	収集運搬	1
破碎施設 (RDJ-55EJ)	廃プラスチック類、金属くず、 ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず（廃蛍光灯、廃 水銀灯に限る。） 3.1t/8h	1	2t 箱型	収集運搬	1
造粒固化施設 (SR-P1200) (移動式：駐車場での稼働を含む)	汚泥（無機性のものに限る。） 640m <sup>3</sup> /8h	1	1tトラック	収集運搬	1
切断施設 (KS700R-2)	金属くず 24t/8h	1	普通自動車	営業車両	6
破碎施設 (HB-180IV)	廃プラスチック類 177.6t/8h 木く ず 266.4t/8h がれき類 182.4t /8h 紙くず 152.8t/8h 繊維くず 116.8t/8h ゴムくず 244.0t/8h 金属くず 180.0t/8h ガラスくず、 コンクリートくず及び陶磁器くず184.0 t/8h 錠さい 180.0t/8h	1			
バケツ		5			
ツカミ		3			
小割		1			
スクリーン		1			

# 処理方法・処理工程



# 受託した産業廃棄物の処理量

令和5年度（令和5年6月～令和6年5月）

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t	
収集運搬	燃え殻		1182.90	
	汚泥		1925.94	
	廃プラスチック類		746.89	
	紙くず		29.00	
	木くず		1141.51	
	繊維くず		29.01	
	動・植物性残さ		121.36	
	金属くず		723.03	
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず		2281.59	
	石膏ボード		394.47	
	がれき類		2843.40	
	コンクリート		7256.12	
	アスファルト		2515.01	
	ばいじん		474.95	
	安定型混合廃棄物		3.37	
	管理型混合廃棄物		1372.00	
	石綿含有廃棄物		147.98	
	廃油		10.80	
	水銀使用製品産業廃棄物		9.27	
	感染性廃棄物		20.64	
廃石綿等	2.33			
PCB汚染物	0.24			
収集運搬量合計			23231.82	
中間処理	汚泥	焼却・脱水・造粒固化	4245.90	
	廃油	焼却	5.16	
	廃プラスチック類	焼却・破砕	624.51	
	紙くず	焼却	34.42	
	木くず	焼却・破砕	1521.41	
	繊維くず	焼却	46.21	
	動・植物性残さ	焼却	9.77	
	管理型混合廃棄物	焼却	589.53	
	がれき類	破砕	4504.15	
	コンクリート	破砕	8233.96	
	アスファルト	破砕	2695.48	
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	破砕	803.32	
	石膏ボード	破砕	493.30	
	金属くず	切断	976.27	
	水銀使用製品産業廃棄物	破砕	23.09	
	感染性廃棄物	焼却	21.40	
	うち再資源化等	汚泥		4217.13
		廃プラスチック類		91.87
		木くず		1054.27
		がれき類		4504.15
コンクリート			8233.96	
アスファルト			2695.48	
ガラス・コンクリート・陶磁器くず			134.06	
金属くず			976.27	
石膏ボード			18.31	
再資源化等量小計			21925.494	
中間処理合計			24827.88	
最終処分	燃え殻		1135.35	
	ばいじん		474.95	
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず		669.26	
	石膏ボード		561.07	
最終処分量合計			2840.63	
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	燃え殻	1135.35	
		ばいじん	474.95	
		ガラス・コンクリート・陶磁器くず	669.26	
		石膏ボード	542.76	
	再資源化	汚泥		4217.13
		廃プラスチック類		91.87
		木くず		1054.27
		がれき類		4504.15
		コンクリート		8233.96
		アスファルト		2695.48
		ガラス・コンクリート・陶磁器くず		134.06
		金属くず		976.27
		石膏ボード		18.31
		再資源化等量小計		21925.494
中間処理後処分量合計			24747.814	